

令和4年度

事業報告書

特定非営利活動法人全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

1 事業の成果

令和4年度は過去2年間コロナ感染の影響で大幅に活動が制限されたところから徐々に緩和し、集会形式の医療講演会・相談会、友の会主催の交流会を実施することができた。患者・家族への情報発信として、会報は隔月で6回発行、年末にはホームページをよりアクセスしやすい形にリニューアルし、頻回に更新し情報提供を行った。出版物の普及にも努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【8410】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
支援事業	患者を中心にその家族と介護・医療・その他の関係者による交流会を開催。 (コロナの影響による制限を徐々に緩和し9月以外は集会形式での開催)	令和4年5月 令和4年7月 令和4年9月 令和4年11月 令和5年1月 令和5年3月	東京港区 東京都障害者福祉会館およびオンライン	延べ 50人	集会形式: 都内と近郊、並びに 地方都市の方々、オンライン: 全国の患者・家族、 医療・福祉関係者等	延べ出席者 約150人	120
支援事業	フレッシュの会を開催。コロナの影響による制限から徐々に緩和し8, 10, 12月は外出企画。4, 2月はオンラインで、遠隔地や障害で外出がしにくい方を対象とした交流会を開催	令和4年4月 令和4年8月 令和4年10月 令和4年12月 令和5年2月	オンライン	延べ 15人	全国の患者・家族、 医療・福祉関係者、一般人	延べ出席者 約20人	10
支援事業	担当者家族の病状の進行により、『SCD・MSA 元気Café』を開催出来ず、昨年度3月実施の支払いのみが発生。パラスリートの「ハンディと付き合いながら」をテーマの講演	令和4年4月	オンライン	延べ 15人	全国の患者・家族、 医療・福祉関係者、一般人	延べ出席者 約50人	30
相談事業	友の会の日常業務として、本疾患に関する情報を収集し患者・家族からの電話・面接による生活相談の実施。会員の入退会業務や電話	毎週火・木・金曜日10～15時に理事と事務局員が応	当会事務所	延べ 450人	全国の脊髄小脳変性症・多系統萎縮症	患者数は 約40000人	3510

	による医療相談を実施した。	対。			患者・家族		
啓蒙啓発事業	医療講演会・相談会はコロナの影響による制限から緩和し、3年ぶりに集会形式+動画配信による開催となった。講師に[REDACTED]をお迎えし、演題「SCD・MSA の臨床と研究」で講演会を、その後講師と医療顧問の先生方による医療相談会を実施し、患者・家族からの事前質問、会場質問に回答して頂いた。	令和4年6月	オンライン	15人	全国の患者・家族、医療・福祉関係者、一般人	参加者286名	455
情報提供事業	会報の発行 会報は「友の会ニュース」として障害者団体定期刊行物協会の審査を受け定価 450 円(会費に含む)で隔月に発行した。その内容は、本疾患に関する医療情報、友の会の活動内容、会員からの投稿等で紙面の改善を図り、情報交流の手段としての役割を果たした。	4月から隔月に発行	当会事務所	延べ40人	患者・家族、医療・福祉関係者、一般人	1700人	1434
情報提供事業	刊行図書販売 「Q&A172」を全国の患者、家族へ書籍を普及した。 「脊髄小脳変性症・多系統萎縮症のリハビリテーション」の書籍を普及した。	4月から	当会事務所 当会事務所	延べ15人 延べ15人	患者、家族、医療・福祉関係者、一般人		878
情報提供事業	ホームページによる情報発信。医療講演会、交流会の開催情報などを提供した。 2023年12月にリニューアル	4月から	当会事務所	延べ10人	患者、家族、医療・福祉関係者・一般人		1838
支援事業	関係団体との連携 日本難病・疾病団体協議会(JPA)主催の国会請願、各政党への陳情行動へ参加し、同協議会が実施した来年度予算や諸要求実現の国会請願署名活動で、全国の患者・家族から多くの署	令和4年10月～令和5年2月		3人	署名数 252名 募金 16,000円		50

	名と募金の協力を頂いた。						
各地患者会の 連絡と支援事 業	各地患者会が人手不足、資 金不足などで実施できない 医療講演会、交流会などの 事業の支援。日常的な情報 提供や相互連絡。	31 年 3 月 随時		8 人	全国各地 の患者会 33 か所		85

令和4年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

(単位：円)

科	目	金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1 受取会費			
正会員受取会費		3,518,520	
賛助会員受取会費		350,000	3,868,520
2 受取寄附金			
受取寄附金		7,470,460	7,470,460
3 受取助成金等			
受取助成金		842,009	842,009
4 事業収益			
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症患者・家族のための情報提供事業収益		762,000	762,000
5 その他の収益			
受取利息・雑収入		42,180	42,180
経 常 収 益 計			12,985,169
【B】 経 常 費 用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当		2,103,297	
(2) その他経費			
印刷製本費		1,330,613	
HP保守・開発費		1,837,928	
会議費		454,579	
旅費交通費		213,779	
家賃		1,381,050	
通信運搬費		324,226	
減価償却費		0	
水道光熱費		76,259	
消耗品・備品・雑費		688,379	
事業費計			8,410,110
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当		186,757	
(2) その他経費			
会議費		110,365	
旅費交通費		20,204	
家賃		153,450	
通信運搬費		36,025	
減価償却費		0	
水道光熱費		8,473	
消耗品・備品・雑費		622,758	
管理費計			1,138,032
経 常 費 用 計			9,548,142
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①			3,437,027
【C】 経 常 外 収 益			
固定資産売却益		0	
経 常 外 収 益 計			0
【D】 経 常 外 費 用			
返還寄附金		0	
経 常 外 費 用 計			0
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②			0
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①＋②・・・③			3,437,027
法人税、住民税及び事業税・・・④			70,000
前期繰越正味財産額・・・⑤			7,565,556
次 期 繰 越 正 味 財 産 額 ③－④＋⑤			10,932,583

令和4年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】資産の部			
1	流動資産		
	現金預金	11,009,572	
	流動資産合計・・・①		11,009,572
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	工具器具備品	1	
	固定資産合計・・・②		1
【A】資産合計 ①+②			11,009,573
【B-1】負債の部			
1	流動負債		
	未払法人税等	70,000	
	預り金	6,990	
	流動負債合計・・・③		76,990
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
負債合計 ③+④			76,990
【B-2】正味財産の部			
	前期繰越正味財産額	7,565,556	
	当期正味財産増減額	3,367,027	
正味財産合計			10,932,583
【B】負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】			11,009,573

元書類收受日 令和5年6月26日
差替書類收受日 令和5年12月11日

令和4年度 財産目録

特定非営利活動法人全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

(単位：円)

科	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1	流動資産			
	現金預金			
	手元現金	188,509		
	みずほ銀行普通預金	10,805,307		
	みずほ銀行普通預金（ふれあい）	381		
	ゆうちょ銀行普通貯金	15,375		
	ゆうちょ銀行振替口座	0		
	流動資産合計・・・①		11,009,572	
2	固定資産			
	(1)有形固定資産			
	工具器具備品	1		
	固定資産合計・・・②		1	
【A】資産合計①+②				11,009,573
【B-1】負債の部				
1	流動負債			
	未払金			
	未払法人税等	70,000		
	預り金			
	源泉徴収税	6,990		
	流動負債合計・・・③		76,990	
2	固定負債			
	固定負債合計・・・④		0	
【B-1】負債合計③+④				76,990
【B-2】正味財産合計【A】-【B-1】				10,932,583

元書類收受日 令和5年6月6日
差替書類收受日 令和5年7月10日

事業報告用

令和4年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☐ 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
☐ 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに ○	(フリガナ) 氏名	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	理事・監事	ナカムラモトコ 中村 元子	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
2	理事・監事	サクマハヤト 佐久間 隼人	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
3	理事・監事	ヤマザキタケシ 山崎 剛	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
4	理事・監事	カリタミツオ 刈田 光夫	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
5	理事・監事	フクダトシオ 福田 敏男	令和4年4月1日 ～ 令和4年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
6	理事・監事	イワサキケイスケ 岩崎 恵介	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
7	理事・監事	フルサワカツアキ 古澤 克明	令和4年4月1日 ～ 令和4年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
8	理事・監事	ワタナベタイチ 渡辺 太一	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
9	理事・監事	イチカワショウタ 市川 勝太	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
10	理事・監事	マルヤマヒロミ 丸山 裕美	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日

事業報告用

	役名 どちらかに ○	(フリガナ) 氏名		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
11	理事・監事	ミウラユウコ 三浦 裕子		令和4年4月1日 ～ 令和4年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
12	理事・監事	ナカヤマサヨシ 中山 雅義		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
13	理事・監事	シオタヨシヒサ 塩田 義久		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
14	理事・監事	ムラシマアツシ 村島 惇志		令和4年7月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
15	理事・監事	アカシハルミツ 明石 晴光		令和4年7月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
16	理事・監事	ヨシムラオサム 吉村 治		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
17	理事・監事	ムラタアキヒロ 村田 明弘		令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日

元書類収受日 令和5年6月26日
差替書類収受日 令和5年7月10日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

	氏名	
1	中村 元子	
2	佐久間 勇人	
3	山崎 剛	
4	刈田 光夫	
5	岩崎 恵介	
6	渡辺 太一	
7	市川 勝太	
8	丸山 裕美	
9	中山 雅義	
10	塩田 芳久	
11	村島 惇志	
12	明石 晴光	

13	吉村 治	
14	村田 明弘	

元書類收受日 令和 5 年 6 月 26 日
差替書類收受日 令和 5 年 7 月 10 日